

令和6年度全国学力・学習状況調査結果（湖西市）

湖西市教育委員会

7月に、文部科学省は4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。調査結果について、全国の正答率と併せて、湖西市の子どもたちの様子をお知らせします。

1 調査の概要

- ◆目的 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◆実施日 令和6年4月18日
- ◆実施対象 小学6年生
- ◆調査内容
 - ・教科調査（国語、算数）
 - ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 結果の概要（全国との比較）

教科	
国語	○
算数	○

質問紙	
国語への関心等	△
算数への関心等	◎
規則正しい生活	◎
自分に関すること	○
学校・友達に関すること	◎
家庭学習に関すること	△

◎=全国平均を上回る（+1以上）
 ○=全国平均とほぼ同じ（±1以内）
 △=全国平均を下回る（-1以下）

教科に関すること

○よいところ

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率（市）	全国との比較
国語	2ー(2)	情報の扱い	・メモの書き表し方を説明しているものを適切に選ぶ。	・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。	87.7	○
	2三イ	言語	・文章の中の言葉について、正しい漢字を書く。 なげる	・習った漢字を正しく書くことができる。	81.8	◎
	3四	言語文化	・文章に書かれている内容として適切なものを選ぶ。	・日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。	75.6	◎
算数	1(2)	数と計算	・問題場面を表す式を選ぶ。	・数量関係を□を用いた式で表すことができる。	88.1	○

算 数	3(1)	図形	・作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ。	・直方体の見取図について理解し、かくことができる。	85.0	○
	3(4)	図形	・五角柱の面の数を底面と側面について着目して記述する。	・五角柱の面の数を底面と側面に着目し、その理由を言葉と数を用いて記述できる。	73.3	◎

△もう少しがんばりたいところ

教科	問題番号	内容・領域	問題の概要	出題の趣旨	正答率(市)	全国との比較
国 語	1二 (2)	話すこと 聞くこと	・オンラインで交流する場面における話し方の工夫として適切なものを選ぶ。	・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。	53.0	○
	2二	書くこと	・文章に書かれている内容として適切なものを選ぶ。	・目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	53.4	△
	2三 ア	言語	・文脈に沿った、漢字を書く。 <u>きょうぎ</u>	・習った漢字を文の中で正しく使うことができる。	49.2	◎
算 数	3(3)	図形	・箱の体積を求める式を書く。	・球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。	42.7	○
	4(3)	変化と関係	・家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、その理由を書く。	・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。	27.5	△
	5(4)	数と計算 データの 活用	・桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く。	・示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できる。	41.9	△

◆成果と課題

全国の正答率と湖西市の結果とを対比させると、正答率はほぼ同じ結果でした。算数へ

の関心は全国平均を上回り、国語への関心は全国平均を下回る結果となりました。

詳細を見ていくと、国語では、知識及び技能の内容で正答率が高く、学習の定着が伺えました。しかし、思考力、判断力、表現力等の内容で、特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域で、全国平均を下回る問題がいくつか見られました。算数では、図形領域のみ全国平均を上回り、その他3領域（数と計算、変化と関係、データの活用）は、全国平均を下回りました。特に、変化と関係の領域は、全国と同様に正答率が低く課題が見られました。国語・算数ともに、選択式ではない記述式の回答で、無解答率が高く、自分の考えに自信をもったり、最後までねばり強く取り組んだりすることを苦手とする児童が多いことが分かりました。

◆**今後の取り組み** 湖西市では、各学校で6月までに「振り返り」を実施しました。

- 国語・算数の授業や、他教科の学習で、設問と似た学習場面を意識的に設定した。
- 苦手とした問題について解説し、同じ問題あるいは類似問題を解いた。
- 課題の改善方法等を学年だより等で家庭へも伝え、家庭学習でも協力を得られるようにした。

★国語★

- ・「自分の伝えたいこと」と「それを裏付ける根拠」とを明確にしてから文章を書き始める習慣をつけるよう指導する。
- ・資料や文章をもとに、自分の考えをまとめたり要旨をまとめたりする活動を積み重ねる。
- ・子ども同士で、短い文にした方が分かりやすいと実感できるよう、短い文を使って話す・書くという機会を増やす。

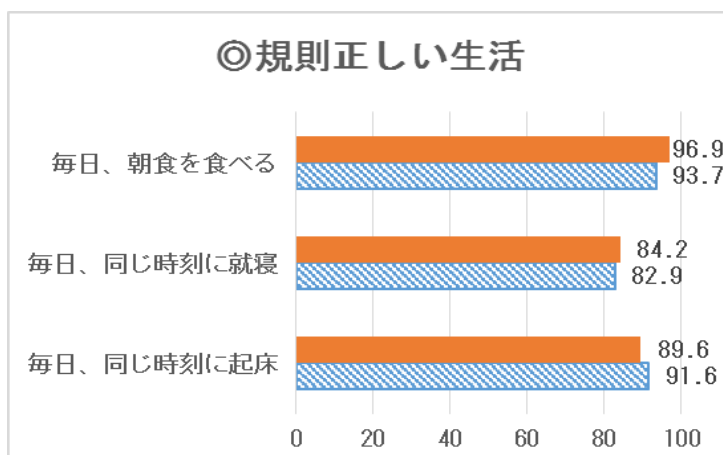
★算数★

- ・生活場面とつなげて、問題を捉えたり算数で使う用語を理解したりできるように指導する。
 - ・立式の過程を順序立てて説明ができるように、授業の中で友達と相互に伝え合う活動を増やしていく。「まず」「次に」などの接続語を使ってまとめる習慣をつける。
- 国語、算数ともに、日頃から新聞やニュースを活用し、データや情報について触れる機会を設定したり、その傾向について考えたりする取組を重視する。

今回の調査結果をもとに、各学校で改めて分析を進めています。それぞれの学校における実態を再度把握し、さらに授業改善を進めていきます。

質問紙調査に関すること

質問紙には、合計 63 の質問がありました。湖西市の子どもたちのよいところ、がんばりたいところを紹介します。

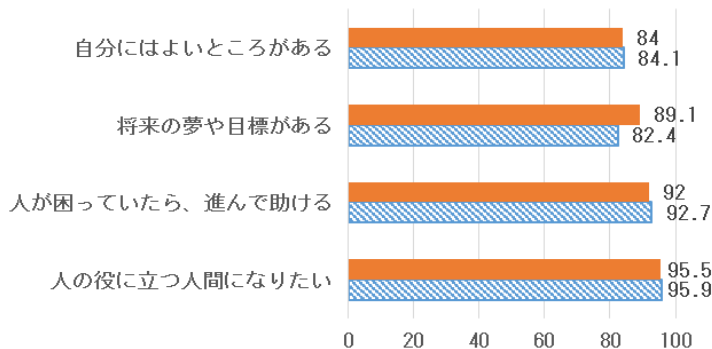


■湖西市 ■全国

毎日、朝食を摂ると、頭と体がしっかり目覚め、脳の働きも活発になって集中力が高まります。

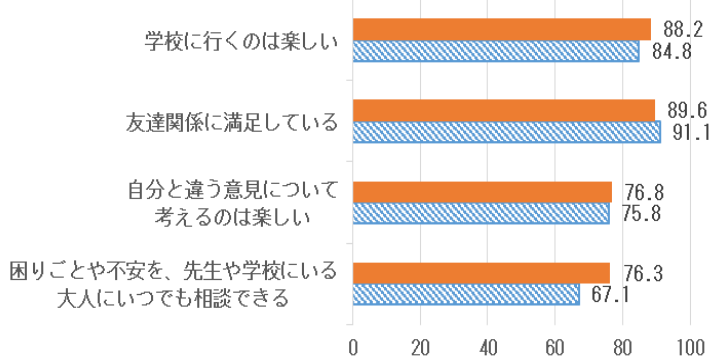
また、良質な睡眠は、体の成長だけでなく、記憶の整理や学習の定着も促します。テレビやゲームなどは、使用時間や終わる時間を決めて使い、今後も規則正しい生活を送っていけるよう、御家庭でも、声掛けや見届けをお願いします。

○自分に関すること



9割近くの児童が、「将来の夢や目標がある」と答えています。夢や目標があると、様々な活動を意欲的に行うことができます。将来の夢がまだ具体的には決まっていない人は、「こんな人になりたい」という目標を見つけることから始めてみてはどうでしょうか。

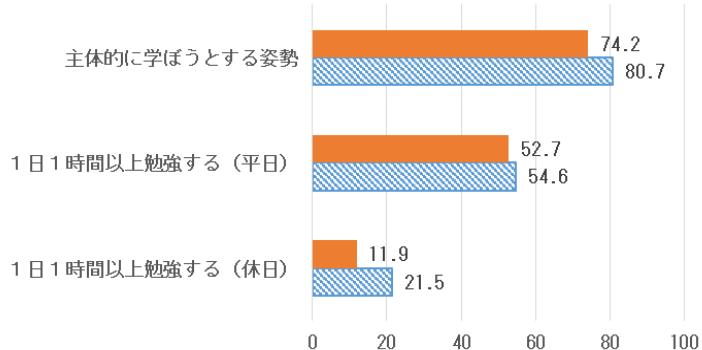
◎学校・友達に関すること



9割近くの児童が「学校が楽しい」「友達関係に満足している」と答えていることがわかりました。

学校は、いろいろな人とのかかわりについて学ぶ場です。困りごとや不安がある時は、一人で悩むのではなく、まわりの話せる人に相談しよう、というメッセージを学校からも伝えていきます。

△家庭学習に関すること



家庭学習に関する項目全てで、全国平均を下回っています。勉強する意味や今後の自分に必要な勉強はどんなことか考えることが大切ではないでしょうか。中学生に向けて、まずは1日1時間、机に向かってみましょう。

家庭でも、学習や娯楽にICT機器が欠かせなくなっています。今回の調査では、SNSや動画視聴の時間が長いほど、全教科において、平均正答率が低い傾向が見られました。使用する時間や場所、内容など、いま一度お子さんとルールを話し合ってみてください。

学びの基礎 7つの取り組み

愛情と思いやりのあふれる家庭づくり

湖西市では、「学びの基礎7つの取り組み」を発達段階に応じて設定し、推進しています。食事や運動、睡眠など、学びの基礎となるのは基本的な生活習慣です。学力調査の結果からも、生活習慣と学力の相関関係が出ています。今後も家庭と学校、地域が連携して、子どもたちの学びの礎を築いていきましょう。御協力をよろしくお願いいたします。

- ことばを使って思いを伝えましょう
- 進んであいさつをしましょう
- 早寝・早起きの習慣をつけましょう
- テレビやゲームの使用は、ルールを守りましょう
- 体を動かして体力をつけましょう
- 友だちといろいろなことにチャレンジしましょう
- 朝ごはんをしっかり食べましょう



調査問題や正答例を詳しく見たい方はこちら

